

# 平成31年度(令和元年度) 和泉市学習状況調査結果概要

## ○ 児童生徒質問紙調査について

子どもたちの学習や生活状況に関する児童・生徒に対するアンケート調査は、小学校58項目、中学校69項目の質問からなります。

質問の内容は学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するもので、質問ごとに用意された選択肢から一つを選ぶ方式です。過去の全国学力・学習状況調査からも、基本的な生活習慣と学力とは相関関係があることが分かっています。今年度の和泉市の調査結果を全国の公立校の調査結果、過去の全国学力学習状況調査の和泉市の調査結果と比較し、下記の7項目に沿って、和泉の子どもたちの様子について分析しています。

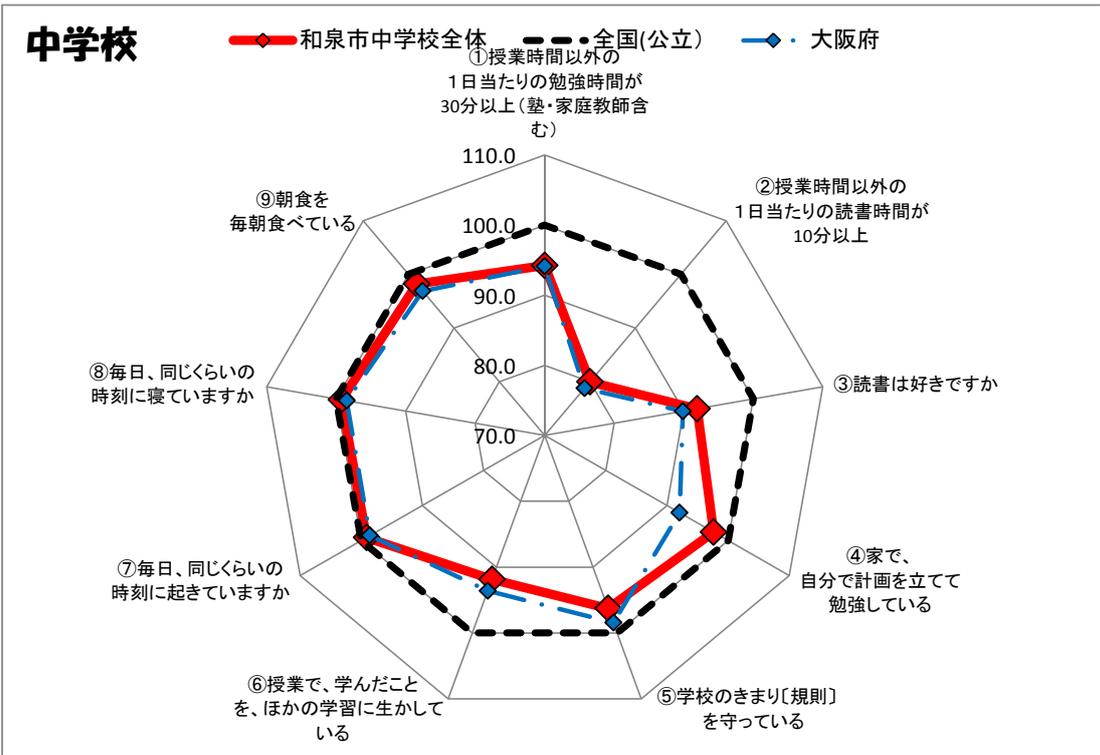
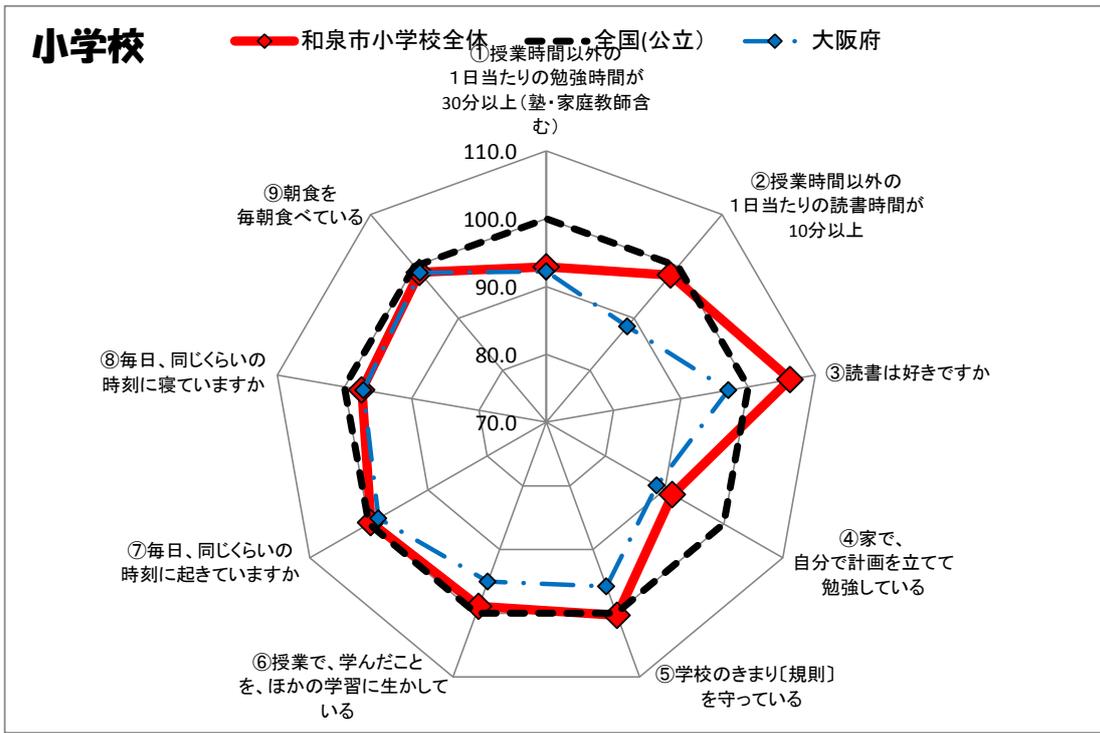
## 和泉市の子どもたちの様子について

1. 生活リズムが身についている子ども
2. 自分を大切にし、他者を思いやる子ども
3. きまりを守り、いじめを許さない子ども
4. 家族の絆を実感できる子ども
5. 自らすすんで読書や学習をする子ども
6. 地域と関わり、ふるさと和泉を愛する子ども
7. 楽しく学び続ける子ども

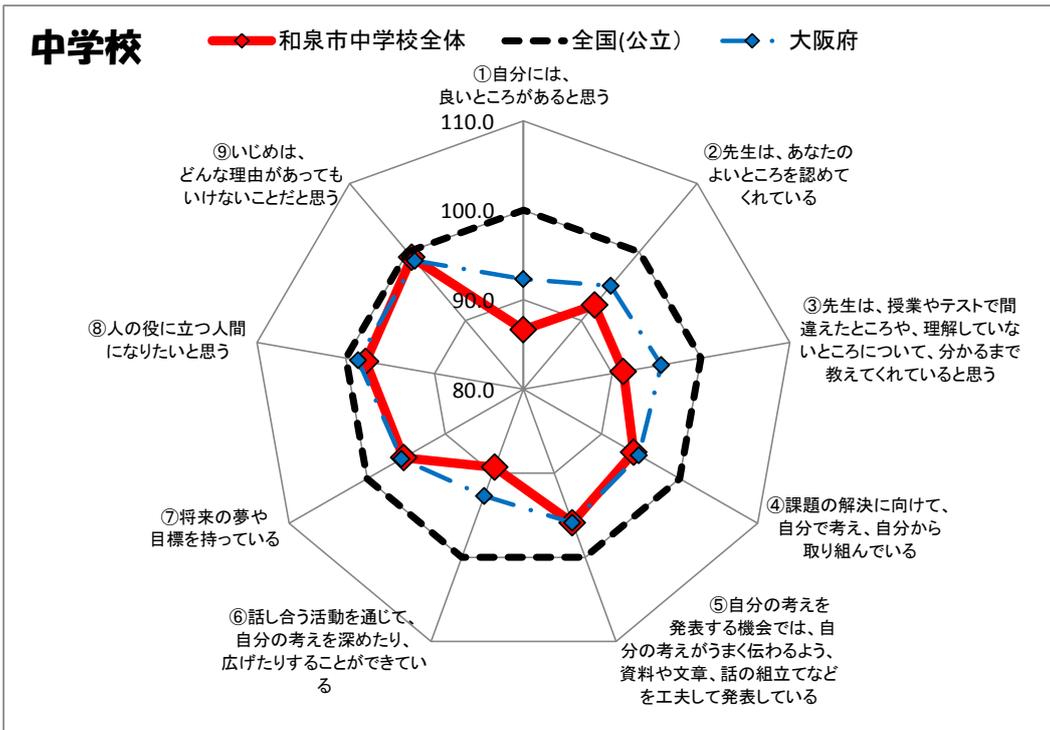
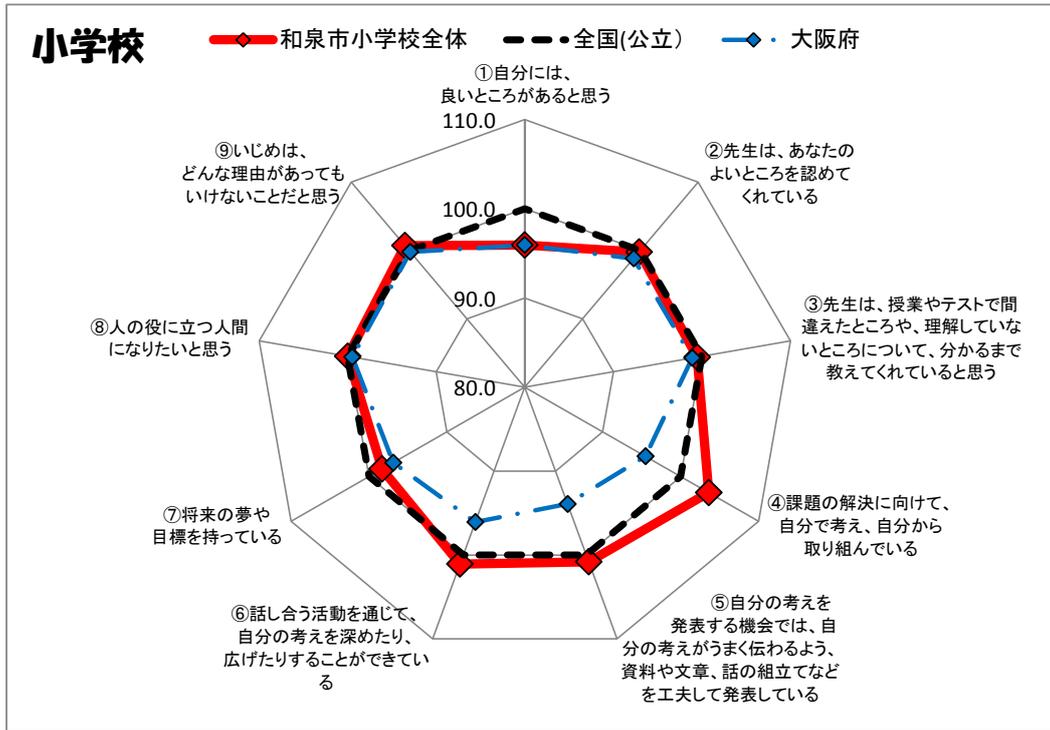


◎児童生徒質問紙の中で、代表的な項目について、市全体の結果をレーダーチャートに表したものです。  
 ※全国(公立)の結果を100として、表しています。

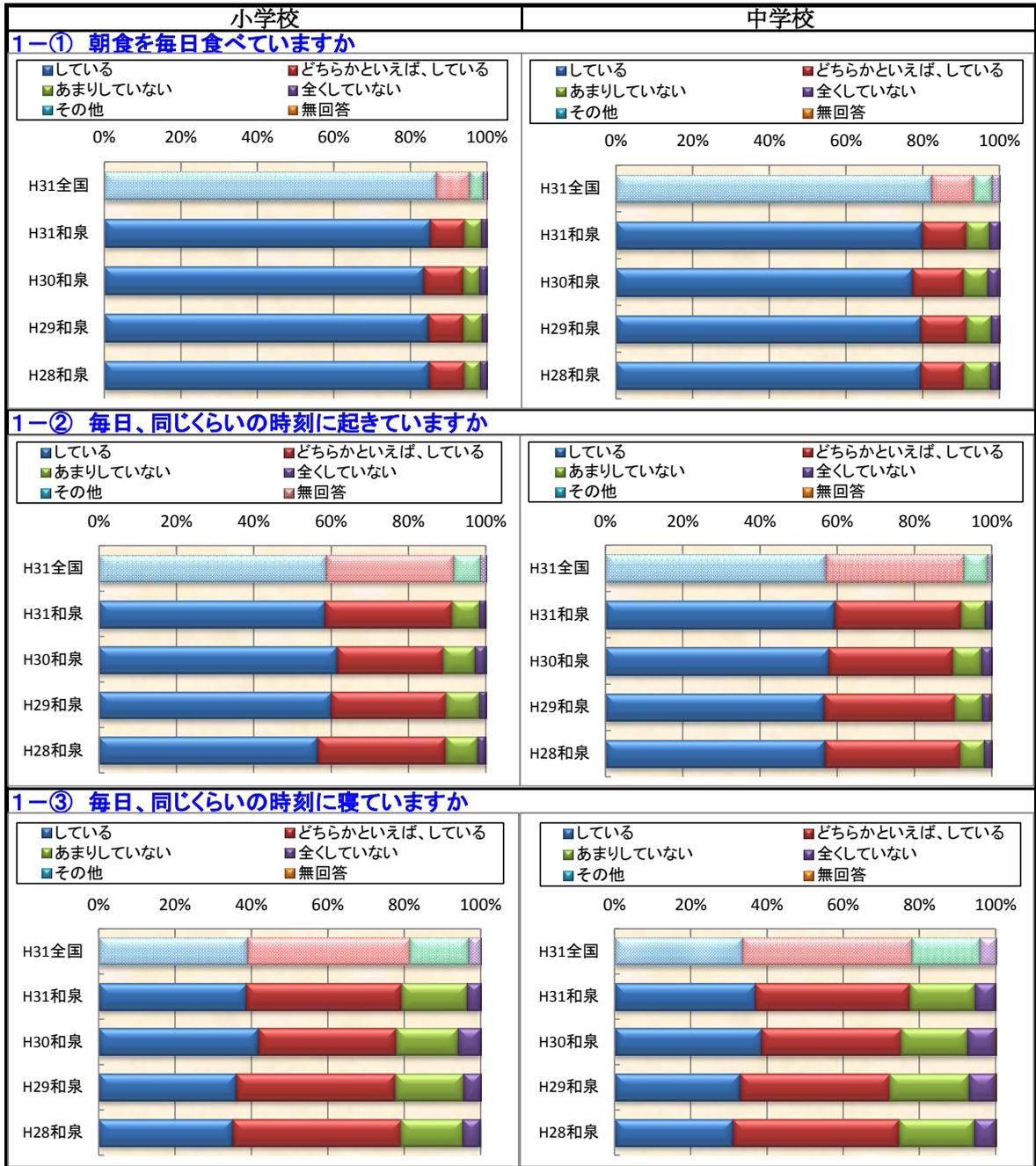
## 「基本的生活習慣」「学習時間等」「規範意識」について



# 「自分に関すること」「学習状況」について



# 1. 生活リズムが身についている子ども

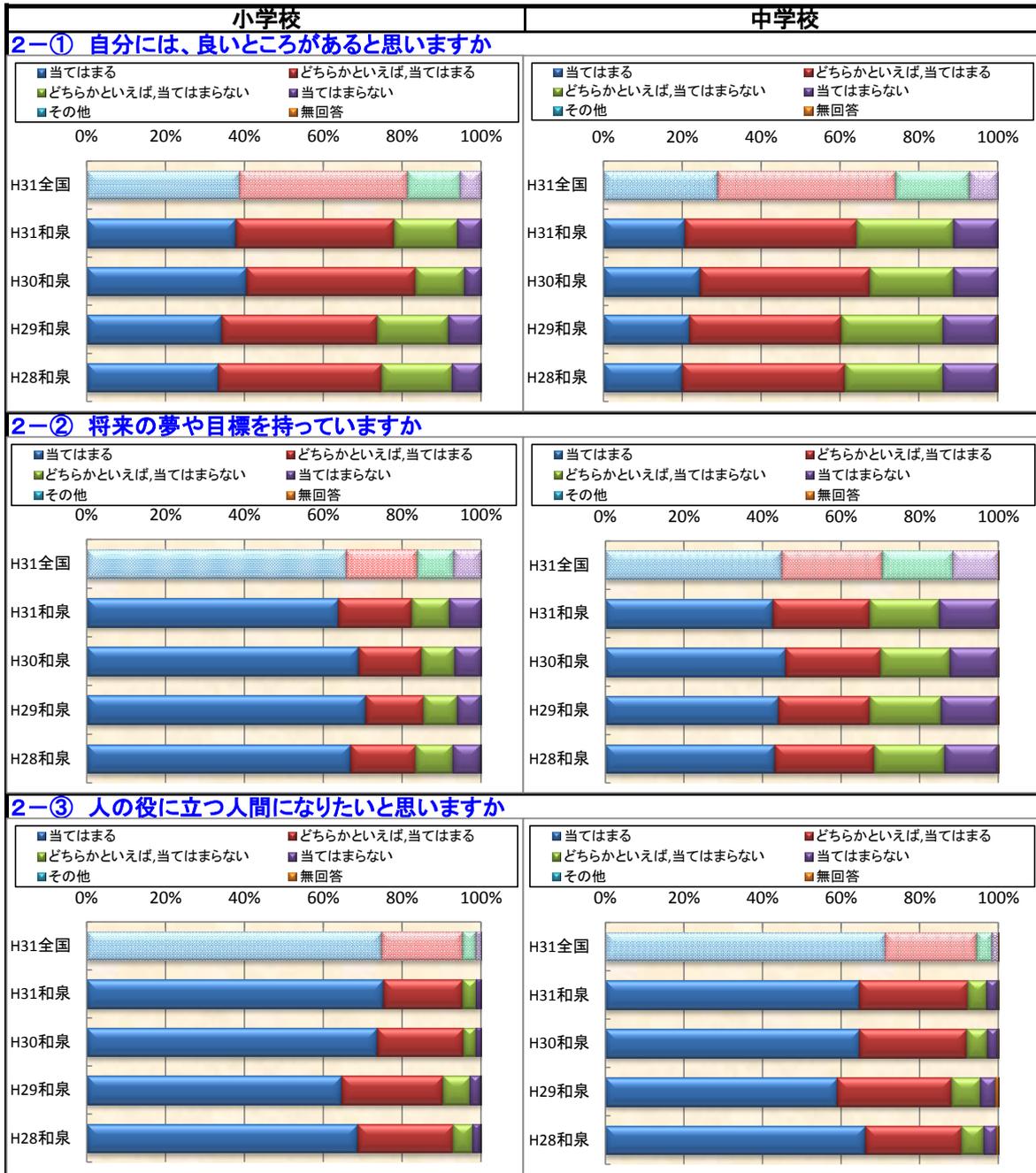


◇1-①では、「朝食を毎日食べている」子どもの割合は、小学校・中学校ともに「どちらかといえば、している」を含めるとここ数年ほぼ同じ数値で全国に近い状況ではあるものの課題が残されています。1-②「毎日決まった時刻に起きる」子どもの割合は、昨年度と同様、全国と同程度です。1-③「決まった時刻に寝る子ども」の割合は、小学校・中学校ともに昨年度よりも改善しております。今後も生活のリズムを整え、朝食を毎日食べている子どもの割合を増やす取組みが必要であると考えられます。

**保護者の皆様へ**

◎朝食を毎日食べることや早寝早起きなど、望ましい生活習慣を身につけることは、学びの土台となります。また、しっかりと朝食を食べ、十分な睡眠をとることにより、こころや体が健やかに成長します。充実した日々を送れるように、子どもの生活リズムを整えてあげてください。

## 2. 自分を大切に、他者を思いやる子ども

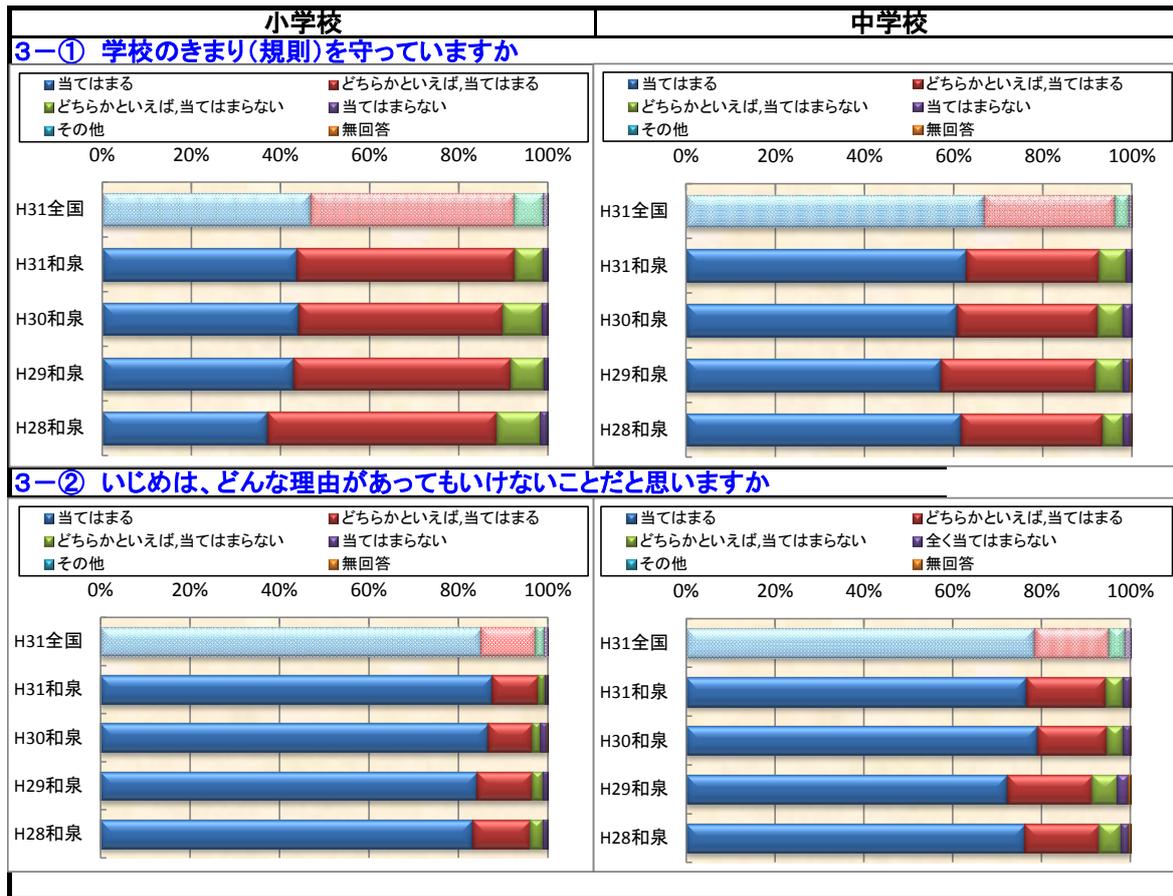


◇2-①「自分には、良いところがあると思うか」の項目では、肯定的な回答をした割合が小学校・中学校ともに減少し、全国との差が拡大しています。また、中学校では依然として全国との大きな差があります。また、2-②の「将来の夢や目標を持っているか」の項目では、小学校・中学校ともに、肯定的回答が昨年度より減少しています。2-③「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の項目では、小・中学校ともに昨年度とほぼ同じで、全国水準に近づいてきています。今後も自己有用感の向上をめざした取組みを継続する必要があると考えられます。

### 保護者の皆様へ

◎子どもの自己有用感の向上には、子ども自身が「人の役に立っている」や「大切にされている」という実感を持つことが重要です。そのためには毎日の生活の中で、周りの大人が、子どものがんばりや努力を知り、そのことを積極的に認め、励ますことが必要です。また、人の役に立っているという実感は、子どものやる気を育み、さまざまな力を伸ばす原動力となり、さらには将来の夢や目標を持つことにも良い影響を与えていきます。子どもの善行をどんどんほめてあげてください。

### 3. きまりを守り、いじめを許さない子ども

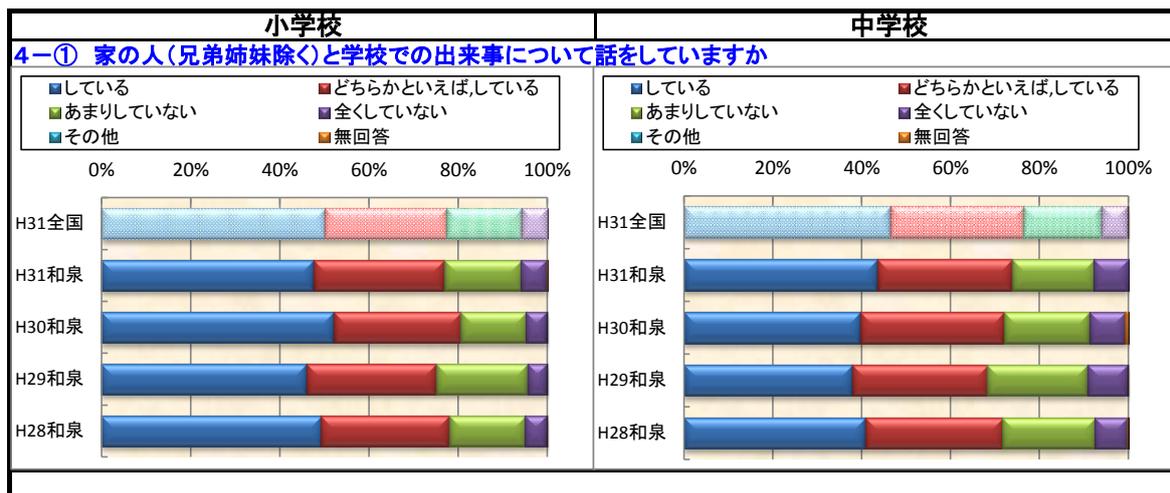


◇3-①「学校のきまり(規則)を守っているか」の項目では、肯定的に回答した割合が小学校ではやや増加し、中学校では、昨年度と同様です。3-②「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思うか」の項目において、肯定的に回答した割合が、小学校・中学校ともに、全国とほぼ同程度になっています。

#### 保護者の皆様へ

◎いじめを許さない自他を尊重できる「よりよい人間関係」を築くためには、物事の善悪についての的確に判断し、自ら正しいと信じる处に従って主体的に責任ある行動をとることが大切です。そのためには、自由な考えや行動のもつ意味や物事の善悪について、子どもとともに考え、話し合う場面を持つようしてください。

## 4. 家族の絆を実感できる子ども

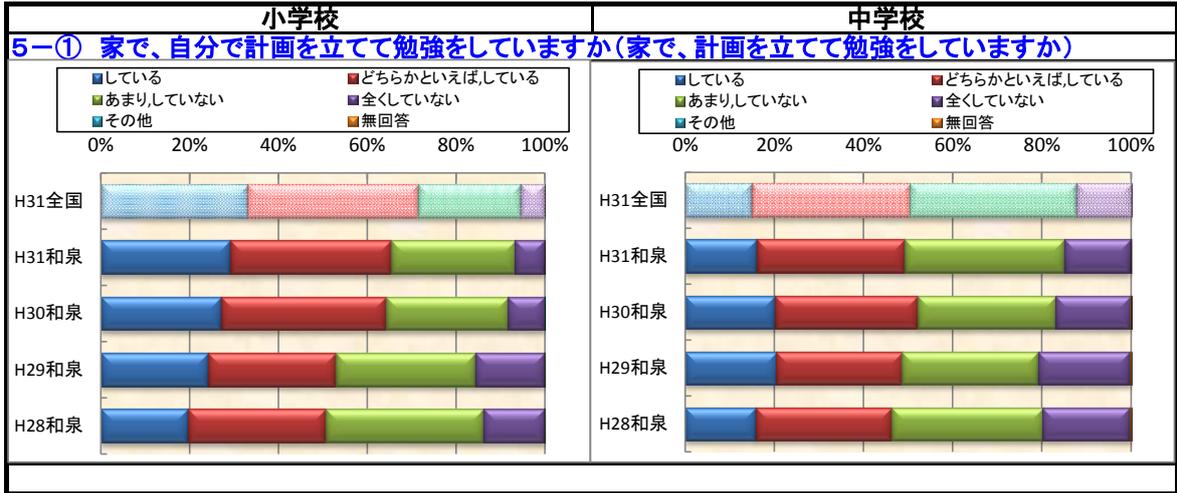


◇4-①「家の人と学校での出来事について話をしているか」の項目での肯定的な回答は、小学校で減少し、中学校で増加しています。普段の学校の様子や将来のことを家族とともに考えたり、お家の方からアドバイスをもらったりすることで将来への展望を見出しやすくなると考えられます。

### 保護者の皆様へ

◎親子のコミュニケーションは、子どもの成長には不可欠です。家の人と一緒に食事をする、家の人に学校での様子を聞いてもらえることは、子どもにとってうれしいことです。頑張ったことがあればしっかりほめ、足りないことがあればしっかりと励ましてあげてください。そのように家庭で温かく見守ることが、子どもの支えになります。また、「家族」について考える機会も、より積極的に取り入れてください。

## 5. 自らすすんで学習をする子ども

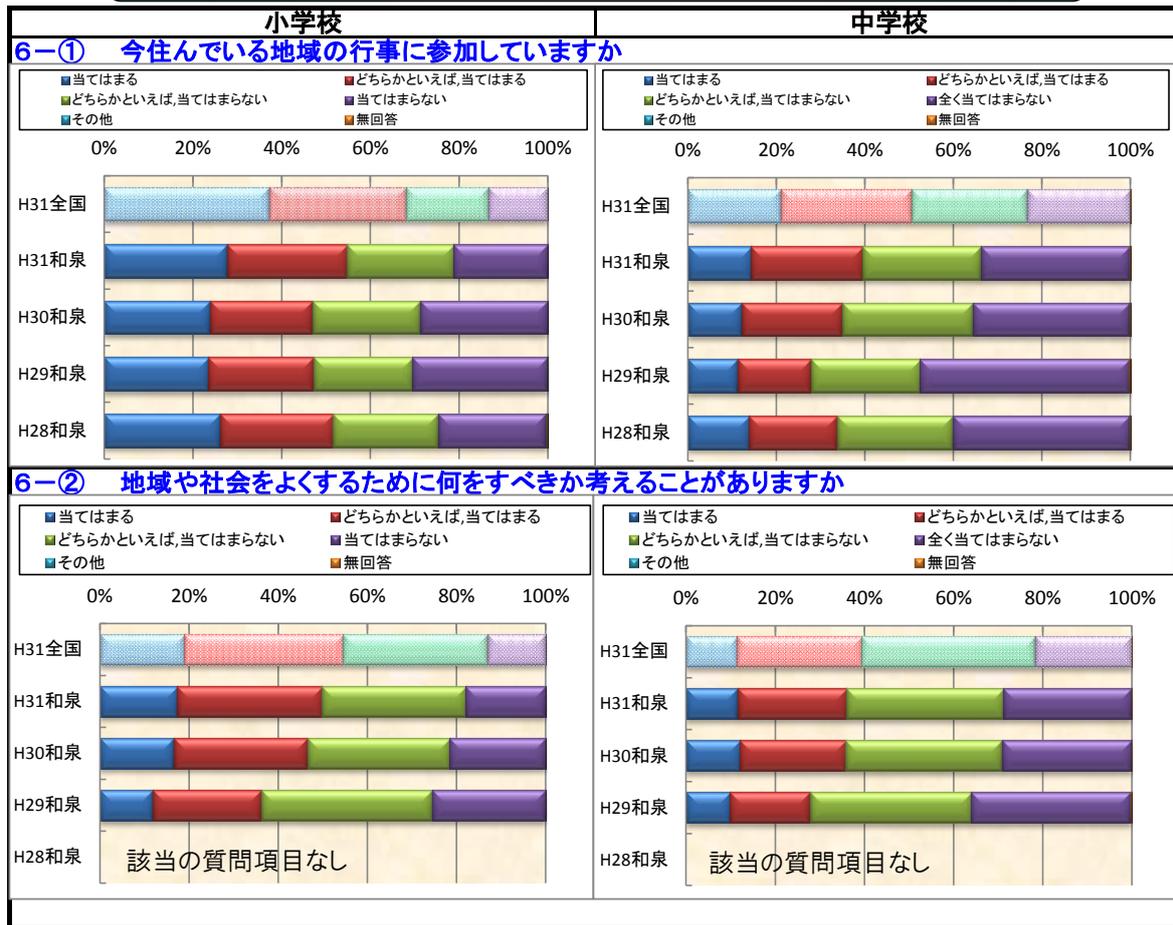


◇5-①「家で自分で計画を立てて勉強をしているか」の項目で肯定的な回答が、小学校では増加傾向にあります。全国との差がまだあります。中学校では、今年度やや減少しましたが、全国とほぼ同水準です。自分で勉強の計画を立て、自らすすんで学習に取り組むことに関しては、小学校において依然として課題があります。

**保護者の皆様へ**

◎家庭学習としては、学校で出された宿題だけでなく、授業の予習や復習など、自分で計画を立てて勉強することが大切です。自分の学習の進み具合や苦手なところなどを確認しながら、家庭学習の習慣づくりをしていくことが必要です。そのために、お家の人の温かい声かけなどで支援してあげてください。

## 6. 地域と関わり、ふるさと和泉を愛する子ども

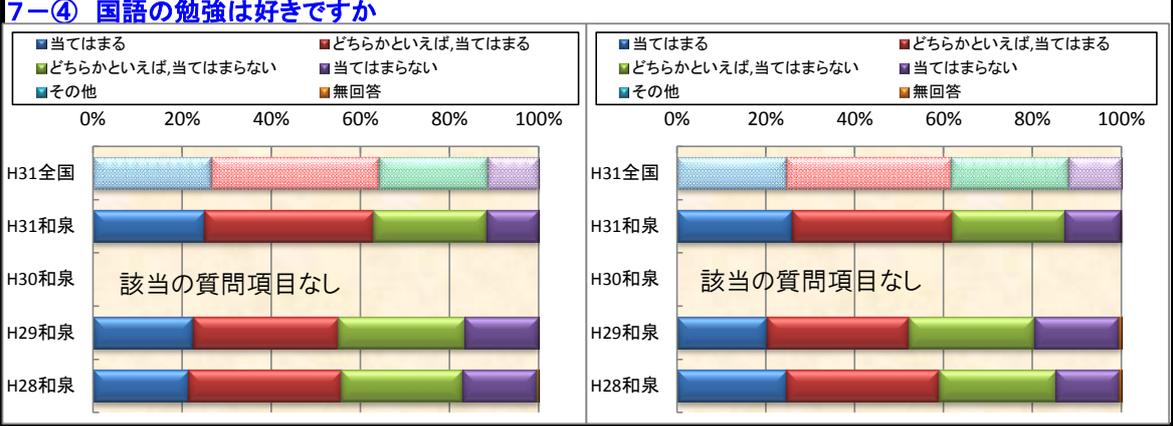
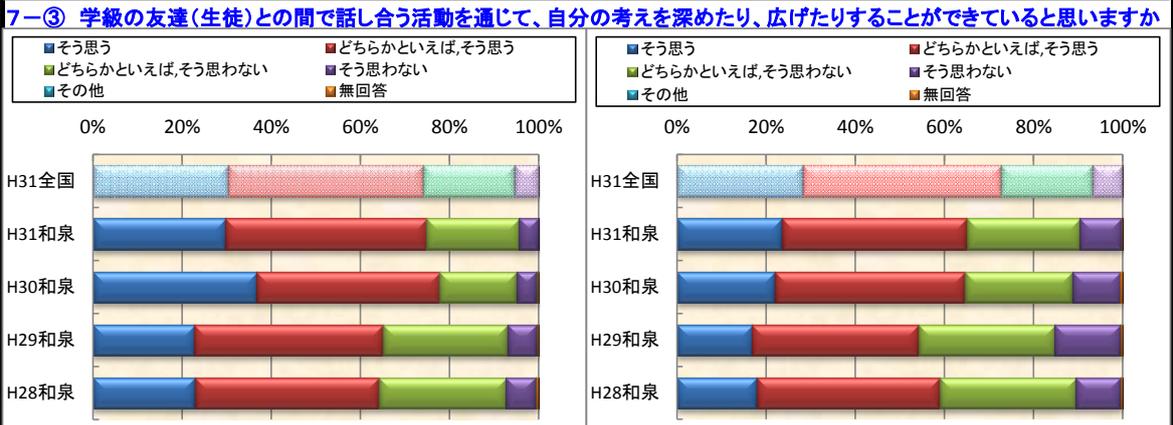
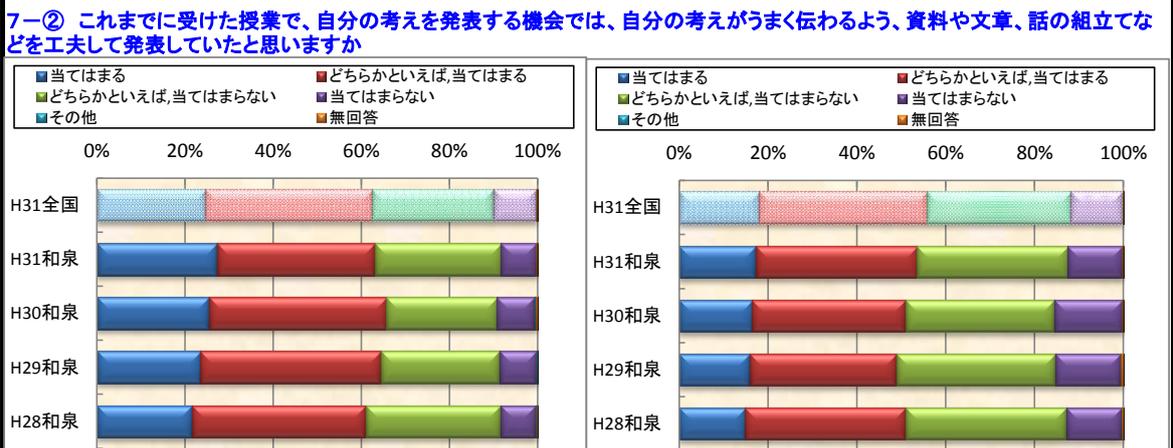
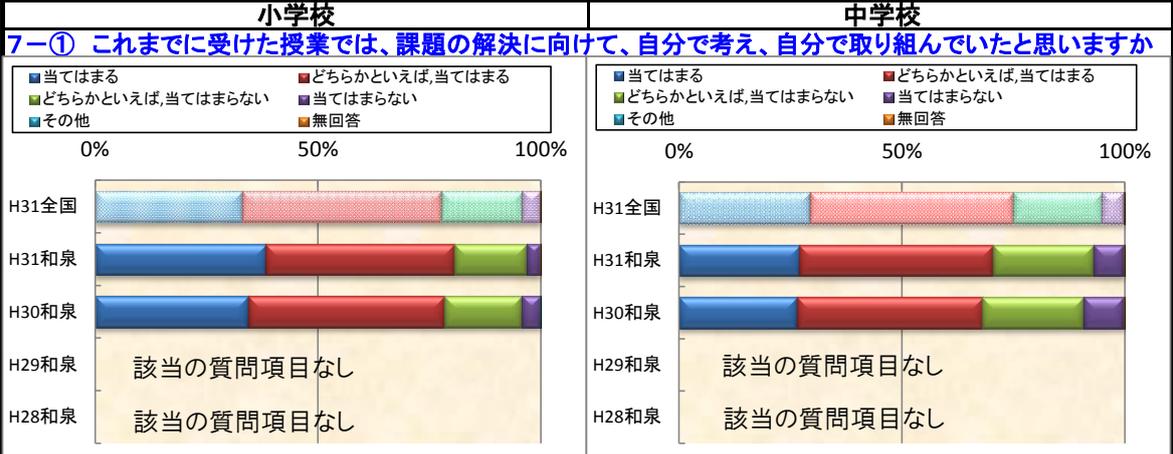


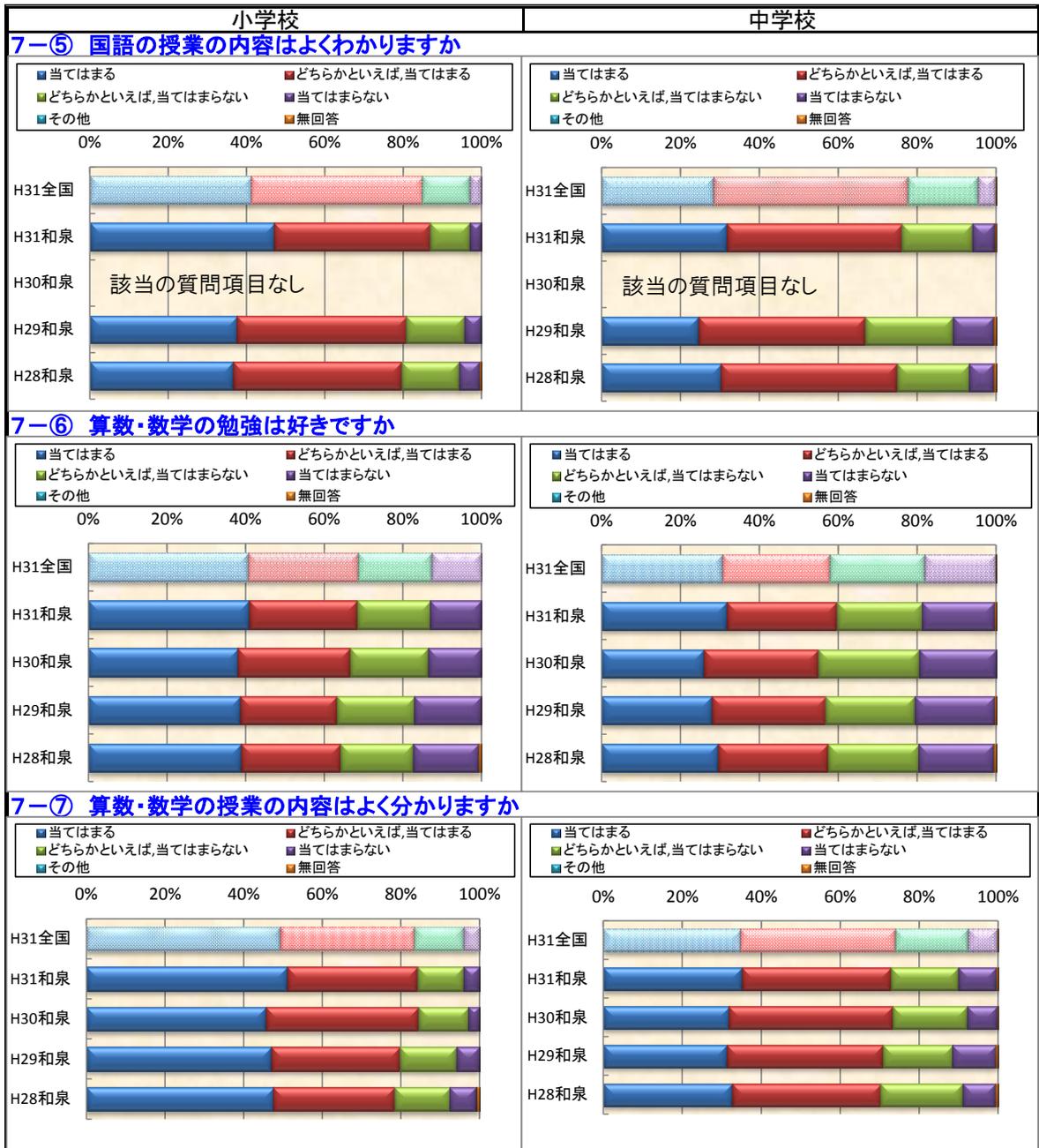
◇6-①「今住んでいる地域の行事に参加しているか」の項目での肯定的な回答が、昨年度に比べ小学校・中学校ともに増加傾向にあるものの、全国に比べ顕著に下回っています。6-②「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか」の項目では、昨年度と比べて、小学校は改善傾向、中学校は同程度となっています。地域や社会をより良くするために何か手段を考えるなど、自分たちが生活する地域や社会に対して関心が高まっています。今後も継続して、子どもたちによるボランティア活動など地域への関わりを増やすための取り組みが必要です。

### 保護者の皆様へ

◎子どもたちが地域の方々とながらみを持つ機会をつくることは、子ども自身がふるさとのよさを実感できるとともに、子どものコミュニケーション能力の育成に繋がります。子どもとともに、地域の自然や文化などに積極的に関わり、そこに携わる地域の人々との触れ合いを深める機会を積極的にもつようによしてください。

# 7. 楽しく学び続ける子ども





◇7-②「これまでに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか」の項目での肯定的な回答は、小学校でやや減少したものの全国水準であり、中学校では改善傾向にあり、全国との差が縮まっています。また、7-③の「学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」についても、小学校において全国水準となっており、中学校においては昨年度と同程度であるものの全国との差が大きく、課題が見られます。7-④⑤から、国語に関して、「好き・内容がよくわかる」の割合は、小学校・中学校ともに全国水準となっています。7-⑥⑦から、算数・数学に関して、「好き・内容がよくわかる」の割合は、改善傾向にあり、全国水準以上となっています。

### 保護者の皆様へ

◎基礎的・基本的な知識・技能だけでなく、学んだことを活用する力や思考力・判断力・表現力等を含む確かな学力が、これからの社会を生きる子どもたちには求められています。子どもの疑問・質問に対し、即時に答えるのではなく、過去に身につけた知識などを元に、その知識を活用させるなど「子ども自身が考える」ためのアドバイスを投げかけてみてください。家庭でそのような機会をもつことで、子どもたちの学びに向かう力を伸ばしてあげてください。